



【新幹線定期報告】

令和3年2月16日
新幹線事業対策室

1. 概況（九州新幹線西九州ルートの進捗）

令和3年1月末時点での工事進捗および用地進捗状況は下記のとおりとなっている。

○工事進捗状況（武雄温泉・長崎間）（R3.1月末時点）

区分	進捗状況		
土木工事	工事延長 67.0km（長崎県 49.2km、佐賀県 17.8km） ・本線土木工事は、R2.9.23をもって完成率が100%となった ・土木の付帯工事は、引続き実施中 ・長崎県内の主要な土木工事 40 工事中 25 工事 が竣工		
建築工事	駅舎工事	新大村駅	鉄骨組立や屋根の施工が完了し、外装も概ね完了、内装などを施工中
		諫早駅	鉄骨組立や外壁、屋根の施工が完了し、内装などを施工中
		長崎駅	鉄骨はメインフレームの組立が完了し、外装、屋根などを施工中
	その他	駅舎、大村車両基地内建物、大村現業事務所以外の建物の施工は完了	
軌道工事	レール敷設はルート全体で約 55km、約 83%が完了 長崎県内では約 37km、約 76%が完了 （東彼杵町・大村市内はレール敷設完了、諫早市・長崎市内で順次レール敷設中）		
電気工事	列車を安全に走らせるための設備であるATC装置（自動列車制御装置）等の確認試験が、各信通機器室間で開始される予定。 （ルート全体の電気工事進捗率は約 56%）		
機械工事	各駅に設置される可動式ホーム柵を工場製作中		
大村車両基地	造成工事が終わっており、基地内の建物の建築工事を実施中 レール敷設工事や、電気施設工事、機械設置工事なども順次実施中		

※鉄道・運輸機構からの情報をもとに、当室にて整理したものである。
 ※土木工事の完成については、トンネルは覆工完了、高架橋・橋りょうはスラブコンクリート完了、路盤は施工基面完了をもって、完成と整理されている。
 ※電気工事の完成率は、設備の設置が完了した率を示しているが、最終的には諸試験の合格をもって、工事完了となる。
 ※前回からの更新箇所を朱書きとしている。

○用地取得実績（長崎県内）（R3.1月末時点）

長崎県全体	東彼杵町	大村市	諫早市	長崎市	全体
取得予定面積 （地上権設定含む）	7.7 ha	33.9 ha	18.9 ha	10.2 ha	70.7 ha
取得済面積 （地上権設定含む）	7.7 ha	33.6 ha	18.8 ha	10.0 ha	70.2 ha
進捗率	100%	99%	99%	98%	99%

※鉄道・運輸機構からの情報をもとに、当室にて整理したものであり、四捨五入により計が合わない場合がある。
 ※買取予定面積は、用地丈量、設計、協議の進捗に伴い変更を行う。

2. 入札公告・結果

令和3年1月16日から2月14日までに、委託8件（長崎県7件、佐賀県1件）の入札公告が行われた。また、工事2件（長崎県1件、両県にまたがるもの1件）、委託1件（長崎県1件）の入札が行われた。

入札が行われた長崎県に係る工事は、以下のとおり。

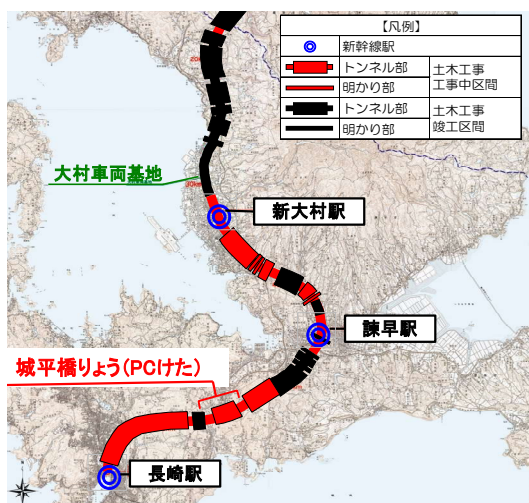
<入札結果>

- 工事名：九州新幹線（西九州）、53k4・57k8間線路諸設備他
 - ・請負業者：鉄建建設（株）〈東京都〉
 - ・契約金額：499,400,000円（税込）
 - ・契約日：R3.1.27
 - ・工期：R3.1.28～R4.5.27
 - ・工事概要：53km350m～57km835m（延長4,485m）間のうち土留工、排水構造物工、緩衝工窓塞工、防護設備工、防音壁工、用地諸設備、付替道路（PC道路橋）、防火水槽移設工、検査用足場工、監査・検査補助業務等を行う工事。（工事場所：長崎市地内）
- 工事名：九州新幹線（西九州）、-0k9・17k5間諸標取付他
 - ・請負業者：（株）大和建设〈佐賀県〉
 - ・契約金額：286,000,000円（税込）
 - ・契約日：R3.1.27
 - ・工期：R3.1.28～R4.5.27
 - ・工事概要：-0km900m～17km535m（延長18,435m）間の諸標取付、支柱式防音壁工、吸音板設置工、排水構造物工、監査・検査補助業務を行う工事。（工事場所：武雄市～東彼杵町地内）

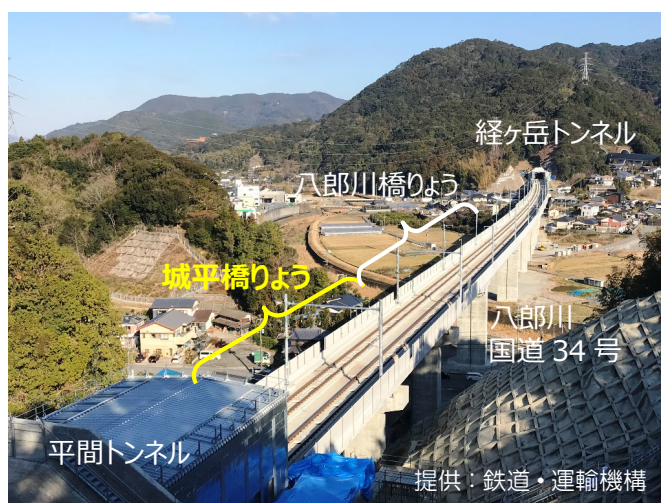
3. 工事の竣工

長崎市内で進められていた「城平橋りょう（PCけた）」の工事が令和3年1月29日に竣工した。この工事では、長崎市平間町にて八郎川や国道34号をまたぐ八郎川橋りょうと平間トンネルの間に位置する城平橋りょうをはじめ、合計6橋の桁の製作・架設などが行われた。

この工事の竣工により、長崎県内の主要な土木工事40工事のうち25工事が竣工した。



位置図



完成した城平橋りょう

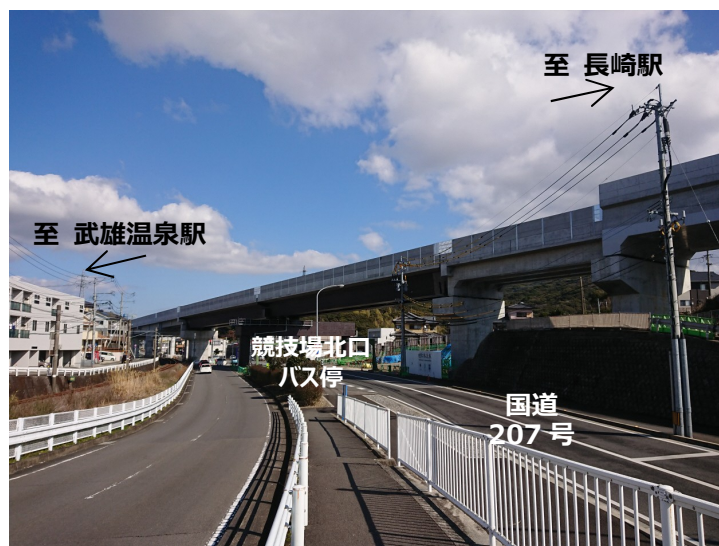
また、建築工事においても、「新大村信通機器室外5箇所新築」工事が令和3年2月9日に竣工した。この工事では、主に電気設備が入る建物の建築が行われた。



新大村信通機器室

4. 国道207号の規制を伴う宇都橋りょう架設作業の完了について

諫早市競技場北口付近で国道207号をまたぐ宇都橋りょうの架設のため、令和2年3月より国道の夜間通行止めや車線規制などの規制を行っていたが、令和3年1月23日未明をもって規制を伴う作業が全て完了した。



宇都橋りょうの様子 (R3.2.6 撮影)

◎新幹線工事の現場状況報告 <軌道工事>

本線土木工事が完成すると、本線上では、新幹線が走るレールを敷設する軌道工事が進められます。軌道工事の様子は、なかなか外から見ることはできませんので、どのようにしてレールが敷設されているのか、工事の様子をご紹介します。

【レールが敷設されるまでの様子】

北九州市八幡で製造されたレールは、各現場まで運搬された後、1本200mになるよう溶接されます。そして、溶接されたレールを本線上に送り出し、工事用の仮軌道を敷いた後に軌道スラブを敷設、その後に軌道スラブの上にレールを載せて、溶接や位置・高さの調整を行い、レールが完成します。



①1本200mのレールを機械で送り出しながら敷設を行う。軌道スラブなどを運ぶ車両が通る工事用の仮軌道となる。



②運ばれてきた軌道スラブを敷設する機械。車両にクレーンがついており、クレーンで抱えてきた軌道スラブを目的地に下ろして敷設する。



③軌道スラブを敷設するために拵げていたレールを、チェーンブロックが付いた機器を使い、軌道スラブの上に並べる。



④専用の機器や水系などを使い、レールとレールの間の距離、レールの高さや位置、通りなどの調整を行う。

軌道工事の現場では専用の機械や機器を使って進められており、軌道スラブやレールの設置誤差は1mm以内という基準で、綿密な工事が行われています。

来年度には、武雄温泉駅～長崎駅までのレールが全てつながる予定です。

なお、より詳細な軌道工事の様子は、今後当室のホームページに掲載予定です。